

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

萩市須佐地域 公民館だより

※題字は昭和４８年発刊第１号時のもの

令和８年
11月
第640号

集おう！学ぼう！
手をつなごう！

発行/須佐公民館　〒759-3411　萩市大字須佐4570－1　℡08387-6-2310　FAX08387-6-2030
弥富公民館　〒759-3302　萩市大字弥富下4043　℡08387-8-2044　FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人　須佐元気なまちづくりネット



大玉送り大接戦！（育英小グラウンド）

≪今月の話題≫

○須佐地区一大イベント、町民運動会・・１、２Ｐ
○弥富そばの花まつりに大絶叫！・・・・・・３Ｐ
○初めての親子ボウリング体験・・・・・・・３Ｐ
○公民館学級：人権講座
　～ハラスメントへの備え～・・・・・・・４Ｐ
　～残り廃油でキャンドルづくり～
○秋の萩市花いっぱい運動審査結果・・・・・５Ｐ
○ぶらぶらタムラ～続・禁門の変～・・・・・７Ｐ



防災物資運搬リレー

須佐の元気を取り戻そう！
須佐地区民こぞっての大運動会！

10月18日（日）、須佐地区町民運動会が、育英小学校のグラウンドで開催されました。当日は気温も上がり、汗ばむくらいの絶好の運動会日和でした。

参加チームは、①ブロック（松原・青葉台・中畑・上三原・堀田・帆柱）、②ブロック（本町・河原丁・山根丁東・横屋丁・中津・押谷）、③ブロック（山根丁西・まてかた・浦西・浦中・浦東・入江）、④ブロック（水海・下三原・北谷・野頭・前地・高山）の4ブロックで構成され、優勝目指して競技に挑みました。

開会式の後、まずは準備体操から。山口弁でのラジオ体操を、会場に来られた全員で行われ、選手の皆さんも十分身体を動かして怪我のないように整えていました。


しっかり胸を広げて…ラジオ体操

競技は、2人で一枚の板にボールを乗せて運ぶ「ボール運びリレー」、男性が投げたボールを女性がバケツでキャッチする「ナイスキャッチ」、防災競技では初の「物資運搬リレー」と「火事だ…それ行け消火器隊」、「玉入れ」「大玉送り」「200歳元気リレー」「須佐の常識○×クイズ」の8種目です。

その他、自由参加のじゃんけんゲームや握力測定も行いました

恒例の「ボール運びリレー」では、「早く！早く！」と周りからの声援を受けながら、2人の息を合わせて小走りに急ぐのに対し、ボールを落とさないよう慎重に…とゆっくり歩きながら進む参加者もいました。

また今年の「ナイスキャッチ」は、様々なボールが用意してあり、中でも何度もキャッチに失敗したのがスーパーボールでした。バケツの中に一度入ったかと思えば、勢いよく飛び出してしまい何度も挑戦している姿が見られました。

一昨年の人命救助から、コンテナを一輪車で運ぶ物資運搬競技へと変更された防災競技。運ぶコンテナの数は最高5つ用意されていました。ジャンケンによって運ぶ物資の数が変わり、1～3つくらいまでは、皆さん余裕で運んでいましたが、4つ、5つになるとコンテナを倒さないように慎重に運んでいました。


バランスよく上手にボールが運べています

また、玉入れでは、2つあったカゴを低い方のカゴ一つにして、20個の玉をカゴに全部入れるまでのタイムを競いました。

休憩時間のハーフタイムショーでは、子ども達とスポーツ振興会の有志によるチアダンスの披露があり、須佐をテーマにしたオリジナルソングと西城秀樹の「ヤングマン」のノリノリの曲で、元気いっぱいのパフォーマンスを見せていただきました。

競技終盤で盛り上がったのは、「大玉送り」と「200歳リレー」です。大玉送りは、小・中学校の運動会で行っていたのをそのまま真似て行いました。またリレーは、4ブロックのうち3ブロックが参加。どちらも最後まで見逃せない、白熱した競技となり、観客席からも大きな声援と拍手が沸き起こっていました。


さあ、ラスト競技「よ～い、ドン！」

次は再来年。大勢で集って楽しむことが目標です。次回も多くの地区の参加をお願いします。

【大会結果】

優　勝　4ブロック
準優勝　2ブロック
3　位　3ブロック



第26回そばの花まつり

新企画「大絶叫大会」大いに盛り上がる！

10月4日（日）弥富小学校グラウンドで、手づくりそばの花まつりが開催されました。今年は事前にNHK山口放送局の取材放送があり、昨年を上回る約2，500人の来場者で賑わいました。

今年の目玉は新企画の「大絶叫大会～弥富の中心のそばで愛をたっける（叫ぶ）ー」です。参加者はステージ上で騒音計に向かい、思いを叫び声の大きさを競うもので、子どもと大人の部各10名ずつが参加しました。

子どもの部では、姉への思いを叫び110.3デシベルを記録した小学生の男の子が、大人の部は一トイレに早く行きたい」気持ちを叫んで118.2デシベルを出した方が優勝しました。なお、110デシベルは自動車のクラクション並みの大音量です。特別賞には、「彼氏が欲しい」と叫んだ中学生の女の子と、「大好きだー」とご主人へ叫んだ女性が選ばれ、会場は大いに盛り上がりました。



大勢の前で大絶叫する男の子

ほかのステージでは、須佐保育園児の可愛い踊りや、弥富スーパースター明&誠ちゃんの歌謡ショーが行われました。歌謡ショーの途中から小雨となり、長州神楽田原保存会による神楽は雨の中での上演ながら迫力ある演技を披露しました。

また、これまで弥富小学校出身者の集まり「びっくりおもちゃ箱」が詩の朗読を行っていましたが、「いわもっちと愉快な仲間たち」と改名し、有名な詩人・童話作家である工藤直子さんの「のはらうた」を朗読していただきました。

メインの十割手打ちそばは、物価高騰にもかかわらず昨年同様一杯500円で販売され、昨年を上回る749食を完売する大盛況となりました。出店では市内外の団体が出店し、そば粉を使った手作りパンやクッキー、弥富の特産品などを販売し、来場者の皆さんのお腹を満たしました。

体験コーナーも好評で、そば粉の石臼体験や藁細工体験に多くの方が参加。萩市消防団須佐方面団による消火器訓練や消防車乗車体験、萩ジオツーリズム協会の体験もあり、多彩なプログラムで来場者が楽しみました。

同時開催の、そばの花畑イベント（畳ヶ淵入口）では、弥富五区の法人の皆さんによる夏みかんジュースの無料配布や無料くじ付きマグネットガチャで新米のプレゼントもあり、盛り上がりを見せました。


会場につながる遊歩道の左右には一面のそばの花畑

この祭りは、弥富むらおこし会実行委員会の会員だけでなく、多くの皆様のご協力のおかげで毎年開催することができており、今後も弥富地区の一大イベントとして継続していきたいと考えております。

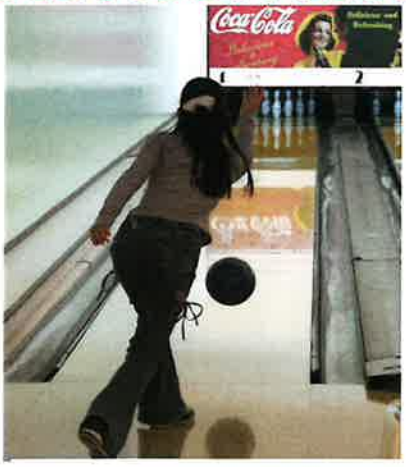
親子でボウリング体験

弥富地区子ども会

9月26日（土）、親子でお出かけツアーが開催され、午前中は山口市でボウリングを楽しみました。

初めてボウリングを体験する子どもも多く、最初は緊張して思うように投げられなかった子もいましたが、回数を重ねるうちにコツをつかみ、徐々に上手に投球できるようになりました。スペアやストライクを出す子どももいて、周囲から歓声が上がりました。親子でのボウリングは笑顔あふれる和やかな時間となり、参加した子ども達も大満足の様子でした。午後は「おのだサンパーク」へ移動し、親子で昼食やショッピングを楽しみました。

弥富地区子ども会では、また楽しいイベントを企画してまいりますので、多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



ストライクを狙って「それっー」

公民館学級

ハラスメントとは…

須佐あおば勉強室



9月29日（火）、萩市福祉部福祉政策課人権推進室の三井侑子さんに出前講座をお願いし、人権講座「ハラスメントに備えよう」という演題で、話をお聞きしました。

「ハラスメント」とは、相手を傷つけたり、不快な思いをさせたり、尊厳を傷つけたりするような言動のことです。例えば、冗談で言った言葉や行動が、相手にとって傷つくことであれば、それはハラスメントとなります。

また、ハラスメントは8つあるということも知りました。パワハラ、セクハラ、カスハラ、モラハラ、マタハラ（マタニティハラスメント）…ここまでは、皆さんも聞いたことがあるかと思いますが、その他にパタハラ（父親の育児休暇に対するハラスメント）、スメハラ（匂いや香りについて）、アルハラ（飲めないお酒を無理に勧めたりすること）があることを初めて知りました。



三井さんの前で、質問について真剣に考える参加者

参加者は、こんなときはどうする？といういろんな事例の質問に対して、隣同士で話しながら答えを見つけ出していました。

また、ハラスメントやトラブルから自分を守るための断り方の練習も行いました。後半のＤＶＤの視聴では、認知症を持つ家庭の家族の言動などを話題に取り上げていて、参加者は食い入るように見ていました。

もしかしたら、自分が気づかないうちにハラスメントのような言動を行っているかもしれません。少しでもそれに気づいたら、相手のことを思い改めること。

また、自分が困ったときには、『一人で悩みを抱え込まない』、『「断る」「離れる」「相談する」は自分を守る大切な方法』だということを学びました。皆さんも人権についてもう一度考えて下さい。



廃油でキャンドル作り

須佐あおば勉強室

10月20日（火）、須佐公民館で残り廃油を活用した、もの作りを行いました。これまでは、廃油せっけんを作っていたのですが、今回はキャンドルを作ってみることにしました。

家庭で出る、残り廃油の処分をどうしているかと参加者に聞くと、「油は少なく使って、使い切るようにしている」と、揚げ物用の鍋を使わず、フライパンなどで少量の油を使うことが多くなってきているようでした。

須佐公民館でも、調理実習などで出た廃油があり、今回はその油をろ過してから作りました。

固形石鹸を作るときには、苛性ソーダを使いましたが、今回は、どこの店でも手に入る「固めて名人」を使いました。



クレヨンを削って色作りに奮闘！

まず、ろ過した油を鍋に入れ、70℃～80℃の温度になったら固めて名人を入れてしっかり溶かしておきます。その合間に、芯となるタコ糸を割りばしに挟んでビンの上から吊るして置き、その後、色を付ける準備をしました。

クレヨンをカッターで削って紙コップへ入れ、油の温度が下がらないうちにクレヨンの入ったカップの中に油を注ぎ、割りばしなどでしっかり色を溶かしていきます。参加者は3班に分かれ、それぞれの班で自分が作りたい色を何色も作り置きし香りをつけ、家から持参した透明なビンに一層ずつ、固まっては入れ、また固まっては入れと何層もの色で素敵なキャンドルを作りました。

参加者は「すごい、きれいな色になったね」「大人の実験みたいで楽しいね」と大好評！

最後は、ひと班ずつ出来上がったキャンドルを前にして記念写真を撮りました。

キャンドルは、クリスマスや災害時の停電にも役立ちます。皆さんも家庭で素敵なキャンドルを作ってみませんか…。



見た目も楽しめるキャンドル

生き活き教室

スポーツの秋はモルックで

つどい会

10月7日（水）の教室は、昼食の後、モルックを楽しみました。つどい会で行うのは2回目です。モルックは、数字の書いてある木製のスキットルを置き、それに向かって木製のモルックを投げ、早く点数が50点ちょうどになれば勝ちというものです。老若男女、誰でもできます。



モルックに夢中になる参加者

参加者は、「あと何点？」と計算しながらプレーし、脳の活性にも役立ったと思います。

また今回は、昼食の献立にはありませんでしたが、公民館前で育っている、大葉の実を調理して、ご飯のお供として試食しました。

R8年度　萩市秋の花いっぱい運動

審査結果

今回、秋の応募は、４２件の個人・団体が応募され、そのうち須佐地域からは４件応募されました。９月８日と９日に審査があり、須佐地域は次のとおりの結果となりました。

【地域・職域団体の部】



銅賞：須佐公民館放課後子ども教室



奨励賞：須佐保育園

【学校の部】



奨励賞：育英小学校



奨励賞：須佐中学校





旧須佐町中央公民館

地域課題って何に…？

平成28年4月須佐元気ネットが本格的に動き出した時期でした。活動の一つとして地域課題に積極的に取り組むことをテーマとして掲げていました。地域課題イコール、住民が実際に困っている事が考えられます。しかし、その数は千差万別数えきれない数です。公民館の生き活き教室でも色々なお困りごとが出され、それなりの解決方法を提案してきました。

そして、これらの諸問題解決と並行するように、萩市社会福祉協議会が主催する須佐地域ささえあい協議体という会が立ち上がり、その一員として私が関わるようになりました。協議体では、福祉に関係する各種団体長や行政・社協職員など約30人の構成、地域内の困りごとを調査し、解決のための方策を議論するという団体です。

例えば、地域の高齢者のお困りごとで、ゴミ出しや外出介助、家事援助、通院介助といったお助けサービスがあります。まずは、こうしたサービスの要望や希望などのアンケート調査から始まり、次にこれの支援を誰がやるのかを話し合いました。中には、すでに活動を行っている団体もあり、実践例として参考になりました。



須佐地域ささえあい協議体

須佐元気ネットは、この協議体の活動を支援する実動部隊として、住民主体生活支援サービスに取り組みました。

最初に「元気サービス（後のもやいサービス）」の試行を計画し、当初平成29年度よりの本格的な実施を目指しました。

サービスの内容は、家事援助（屋外清掃、ゴミ出し）、買物、通院支援などで2時間以内2000円としましたが、もやいサービスの中の、自家用車を利用しての買物支援、通院支援について、料金を徴収することは自家用有償運転に該当（白タク行為）するのではと行政から、国土交通省に相談があり、結局その年の事業開始は見送られました。

その後、元気ネットでは、料金は徴収せずに、その対価は地域通貨（須佐でしか利用できない通過／将来使えるボランティア券）に改めました。

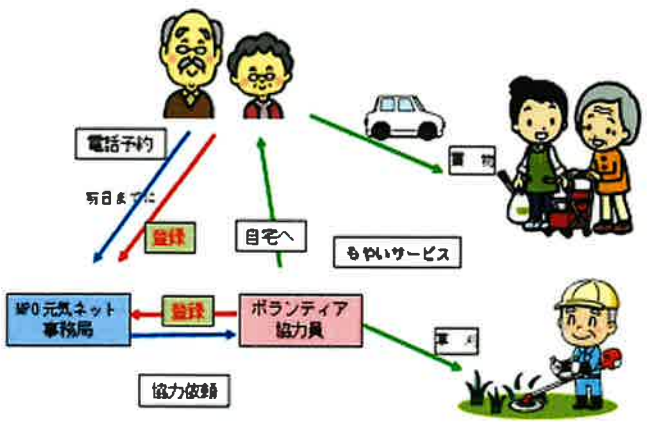
地域通貨（お金ではない扱い）を利用することで、国土交通省は、もやいサービスが自家用有償運送に該当するか否かは違法、合法の判断は見送り、白黒はっきり付けることは避けクレーの判断を下しました。

また、行政は住民主体生活支援サービスの実施について、ゴミ出し、通院、買物支援を含めたサービスを指すものであると弁明。

最初から、このような方向性を通達しておけば、須佐元気ネットが発行した地域通貨作成（10万円）の支出はなかったものです。

いずれにせよ、長く議論を交わした問題も解決し、平成30年4月からもやいサービスが開催され多くの住民の方の足を支援することになりました。

■もやいサービスイメージ図



つづく

ぶらぶらタムラのまちあるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶらタムラ』が、わが町を紹介します。前回に引き続き、禁門の変の質問や補足についてお答えします。

なぜ禁門の変が起きたのか

前回幕末の体制（公武合体派×尊王攘夷派）について、お伝えしました。それぞれ思いの中で、天皇を上手く利用するといった体制が頻繁に行われました。

尊王攘夷派は、文久3年（1863）益々勢いを強め、6月16日孝明天皇の大和行幸「ぎょうこう／天皇が大和（奈良）の神武天皇陵（最初の天皇）」を参拝し、攘夷親征（※）を実行に移す計画をしました。

※大和行幸し、幕府に攘夷の勅命を伝え、幕府が実行しなければ直ちに違勅の罪をならし、討幕の挙に出て王政復古しようとの計画。

8月13日大和行幸の詔（みことのり）が出ました。こうした尊王攘夷派の暴走に危機感を抱いたのは、京都守護職を命じられた会津藩と公武合体を推奨する薩摩藩でした。

薩摩藩は、江戸に入り「文久の改革（参勤交代間緩和、人事の刷新、京都守護職の設置）」の改革を成功させていたが、その隙に京都では攘夷派による支配がなされていたのです。

八月十八日の政変ってなに？

攘夷派排除という共通の目的を持った会津藩と薩摩藩は、中川宮朝彦親王ら公武合体派公家と共に宮中でのクーデターを計画。



京都政治の舞台京都御所

一言にいうと長州藩と尊皇攘夷派が京都の政治の舞台から追い出された事件です。

そして、8月18日未明中川宮が天皇から攘夷派公家の参内を禁じる詔勅（天皇の意思を表す文書）を得ると、御所の門を封鎖し、尊攘派公家を締め出し、朝議では、大和行幸の延期、尊攘派公家の参内禁止、長州藩の境町御門警備解任などが決定。これが「八月十八日の政変（宮中クーデター）」です。

京都御所周辺には12門があり、御所内には身分により出入りしていた6門があります。周辺にある12門は、各藩ごとに警備が行われ、その一つ境町御門が長州藩の担当となっていました。

結局このクーデターによりこの任務は解かれたこととなります。

もう一度御所警備に

京都御所を後にした長州藩は、七人の攘夷派の公家らと共に、長州路へ。歩くことの少なかった公家たちを萩まで連れて帰るって大変な事だったと思います。それを陣頭指揮したのは萩藩筆頭家老の益田親施でした。

長州藩ではもう一度御所の警備につくことは許されませんでした。

長州藩の難局

文献によりますと、元治元年（1865）8月5日アメリカ、イギリス・オランダの四ヶ国の連合艦隊17隻が下関に来襲しました、通称下関戦争です。禁門の変後、幕府はすでに長州征伐を決定しており、長州藩としては、外国の艦隊と幕府を相手に戦わなければならない最悪の危機にあったと記録されています。結局長州藩は四国連合艦隊に完敗し、攘夷の不可能を全国に示すことになりました。



下関戦争で連合国によって占領された長府の前田砲台

長州藩はこれ以降も大きな試練を味わうこととなります。　つづく

地域トピックス

須佐地域敬老会



9月19日（土）、須佐文化センターで敬老会が開催され、須佐地区、弥富地区合わせて99名の敬老者が出席されました。当日は、萩市長から感謝の言葉が述べられ、式典の後の余興では、中学生時代にテレビ東京のカラオケバトルで優勝し、地元で活躍されておられる秋山紗季さんが登場し、歌を披露されました。敬老者にとって、とても感激された日となったのではないでしょうか。



秋山紗季さんと一緒に笑顔の記念写真

地域交流ゲーム大会開催



ゲーム交流会で楽しむ参加者

9月27日（日）、地元の中高生が主体となって企画・運営したお祭り「須佐を盛り上げたい！高校生が考えたお祭り」が開催されました。

メインのゲーム交流会では任天堂マリオパーティでの勝負が繰り広げられたほか、お菓子まきや焼きそば・いか饅頭の出店、館内での射的やスタンプラリーも開催。

小学生と保護者を中心に参加者が集まり、子ども達の笑顔があふれる、温かくアットホームな一日となりました。



お知らせコーナー

12月のイベント・教室予告

●須佐あおば勉強室

「こんにゃく作り」

日時：１２月２１日（月）１３時～

場所：須佐公民館２階　調理室

●須佐のびのび教室

「しめ飾り作り」

日時：１２月２５日（金）９時～

場所：須佐公民館１階　多目的室

※案内チラシは、次回、１２月の回覧で案内します。参加される方は、回覧を見られてから申し込みをお願いします。



『そろばん教室』生徒募集！

10月15日に、１回目のそろばん教室が開催され、初回は、そろばんの名称から姿勢、簡単な足し算・引き算　を行いました。そろばんは、脳の活性、　認知症予防にもなります。参加者は、「そろばんは何年ぶりじゃろう」「できるろうか…」と言いながらも、和気あいあいと楽しそうにそろばんを触っていました。

この教室では、足し算・引き算を主に「脳トレ」として、みんなで楽しくそろばんができればいいなと考えています。

どうぞ、皆さんも気軽に参加してください。

２回目は　１１月２６日（木）9:30～
（須佐公民館１階：多目的室）

★お問合せは、須佐公民館 TEL６－２３１０
担当：緒方まで

昭和101年

ぽっぽや 山岡保治の 今昔物語 6



カメラで昭和を追う・・



昭和38年の浜辺の暮らし（浦中／法隆寺を下った路地／観音丁）の風景です。今でも子ども達の元気な声が聞えてきそうです。



現在の浦中の風景

昔の井戸の場所は、今は舗装で埋められていましたが、井戸の場所は確認できました。

狭い路地裏で元気に遊ぶ子ども達の間をリヤカーが通り抜けます。井戸前では、夕飯の準備でしょうか魚をしごをする女性がおられ、波辺の生活自体が、漁師の皆さんの元気を支える源になっていたのだと思われます。

本当にのどかな漁師町の風景が残されています。皆さんに写真を見せながら歩いていると、色々な浜の昔話を聞くことができます。

地域おこし協力隊活動報告会のお知らせ
～3年間の感謝を込めて～

まいど！地域おこし協力隊の山本一貴です。日頃より温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝しております。須佐に移住、着任してから早いもので、この12月末をもって3年間の任期満了を迎えることとなりました。

これまでの活動では、「スマホなんでも相談所」や「韓国カフェタイム」、「放課後子ども教室」や「公民館学級」を通じて多くの方々と交流させていただきました。皆様に喜んでいただけることが大きなやりがいとなり、本当に楽しく活動させていただきました。

そして何より感謝しているのは、私たち家族を温かく迎え入れてくださった地域の皆様の優しさです。須佐に来てから息子が生まれましたが、地域の皆様がまるで我が子、我が孫のように温かく見守ってくださり、本当に嬉しく思っております。その温かさを感じたからこそ、任期終了後もこの町に残ることを決意いたしました。家も購入予定です。

そこで、3年間の感謝と歩みをご報告したく「活動報告会」を下記により開催いたします。是非皆さん、お越しください。おおきに！

日時：12月6日（日）10:00～11:00
場所：須佐公民館2階講座室
内容：10:00～活動報告会
　　10:30～ざっくばらんな座談会





みこと君が昔の思いを伝えます

増野清香氏銅像（ましのきよか）

今回は、碑ではありませんが、どこかで見たという方も多いと思います銅像です。その昔は、須佐中学校の校庭に、そして水害までは、須佐保育園の玄関付近に、今ではグラウンドゴルフ場前にその姿は位置は変わることなく佇んでおられます。

この人は、増野喬定の子息増野清香氏の銅像です。


増野清香銅像

増野喬定は安政2年(1855)須佐に生れ、幼少より学問好きで、育英館に入学し、文武の就業をしました。

明治12年増野太郎兵衛の養嗣子となり、明治12年須佐育英館の教授となり、明治18年和歌山、東京に転任し、明治25年愛知県亀崎町私立経世学舎長に就任。喬定の一生は郷里を離れて以来、東に西に転々とし、微々たる官吏に終り、才能を発揮することもなく、50歳で病死しました。

その後を継いだ清香は、幼少より、苦学奮闘の結果が実を結びました。

大正2年（1913）、創業者・増野清香氏が当時その殆どが輸入されていたセメント製造用諸機械の国産化を図り、増野製作所を創業しました。

それ以来、（株）増野製作所は一貫して化学・窯業、鉄鋼、鉱業などの広範な分野にわたり各種産業用機械の設計・製作に従事し、巨大な利益を上げることになりました。

また昭和14年、郷土須佐町の教育振興のためにと、青年学校建設資金を寄附されました。

この銅像は、この功績を讃えるために設置されたものと思われます。

しかし、銅像に記したものがなく、誰もが知ることもなく、今日に至っています。是非この機会に増野清香氏の功績をしっかり知ってもらいたいと思います。

須佐には、昔から多くの郷里出身者が多額の寄付をされ、ある時には、育英小学校校屋体の建設費用になり、ある時は、文化財の修復費用に使われてきました。そんな善意が形となって、今の須佐地域が構成されていることは大変素晴らしいことだと思われます。

つづく

お家時間を楽しく過ごそう！

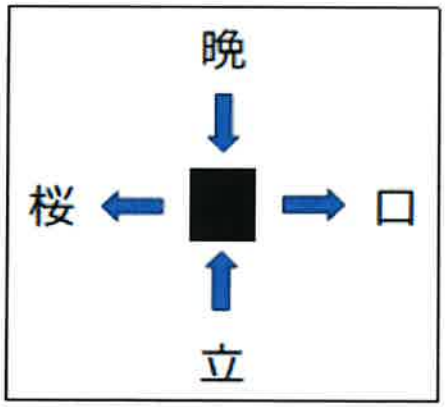
さあ、このコーナーは、『クイズ』で楽しみましょう！

今回も【漢字クイズ】です。それでは…

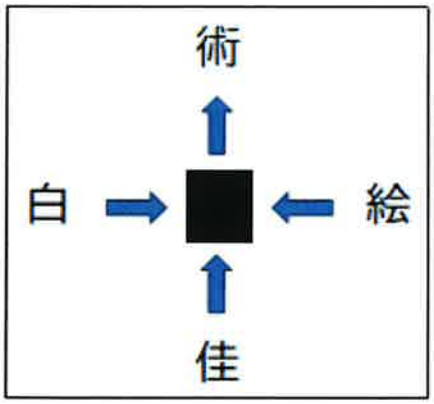
次の①～④の■に入る漢字を解き、解いた4つの■でできる「四字熟語」を作りなさい。（答えは、最終ページに記載）



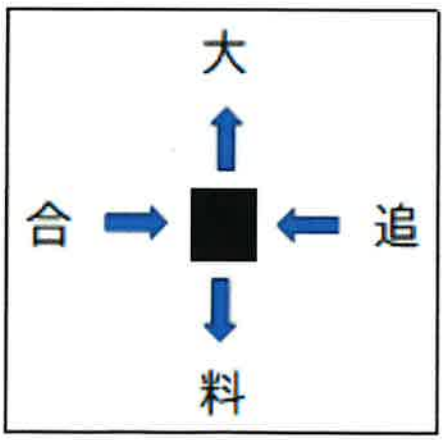
①



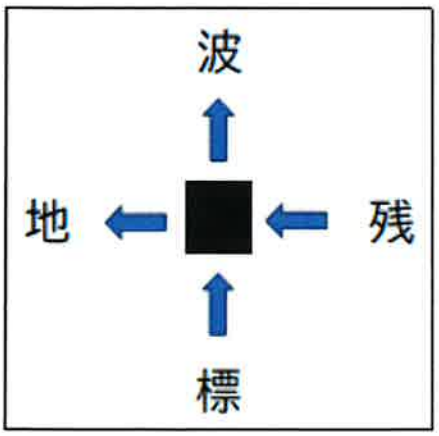
②



③



④



生涯学習作品コーナー

【俳　句】

ジイジイと地虫せわしく秋を呼ぶ　（山根丁東）ゆめはるか

葬列の車過ぎゆく曼殊沙華　（浦東）西田梗野

銀杏散る園児の歓声満つる中　（浦東）西田梗野

食待ちか高い低いの蜘蛛マンション　（松原）山縣セツ子

秋夕焼け不気味に染める寺の森　（松原）山縣セツ子





【短　歌】

草を刈る我に手を上げ会釈する
　行き交う人はにこやかにゆく
（青葉台）田村雅利

チャリティの障がいを持つ母と子の
　心打たれて涙ポロポロ
（山根丁東）ゆめはるか

須佐の偉人伝　大塚　均　116

このコーナーでは、切手デザインの大家である大塚均（山根丁東出身）さんがデザインされた約１２０点の作品を随時紹介しています。
切手カバー図案も合わせてお楽しみ下さい。



大塚　均（1911－1998）

SL切手シリーズ C11形・C8620形

SLシリーズ切手は、蒸気機関車（SL）を題材にした記念切手シリーズです。1974年から1975年にかけて発行されたもので、全10種で構成されています。第３集は、短距離輸送や入替作業で活躍したC11形と、大正時代の代表的な旅客用SL、8620形がモチーフです。

昭和50年4月3日20円記念切手が発行された。大塚均63歳筆の作品です。



2026 11月 地域カレンダー

須=須佐公民館　弥=弥富公民館　生=生き活き教室
学=学校・保育園行事　ス=スポーツ関係　保セ=保健センター
子=子ども対象行事　弥G=弥富グラウンド

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 ■須佐美術展開催（~5日）	2	3 文化の日 弥 弥富地区体育大会 8:30	4 生 つどい会 10:00	5 生 生き活き体操 8:45 須 そろばん教室 9:30 須 スマホクラブ 14:00	6 須 須佐美術展片付け 13:00	7
8 弥 龍が通った道まつり 10:00 須 韓国カフェ 13:30	9 須 スマホ相談所 8:30 生 エコクラフト 9:30 生 ピンポン・ボッチャ 13:30	10 須 バッチサークル 9:30	11 生 歩こう会 8:45 須 色えんぴつ画 13:30 弥 作品展（~12/9） 学 音楽発表会（午前中）	12 須 習字教室 10:00	13 弥 我が家の手作り教室 9:30 生 手芸クラブ 9:30 生 囲碁・将棋 13:30	14 学 須佐中オープンスクール 人権教育講演会
15	16 生 ピンポン 13:30	17 須 バッチサークル 9:30	18	19 須 さつき・あおば合同研修 8:45集合 ■無料法律相談（須佐）	20 弥 さつき学級 9:30 ■人権・行政相談（弥富） 10:00	21
22	23 勤労感謝の日 須 まち歩き 10:00	24 ■心配事相談（弥富） 9:00 生 エコクラフト 9:30	25 弥 Gゴルフを楽しむ会 8:30 須 色えんぴつ画 9:30 生 音楽療法 13:30	26 須 そろばん教室 9:30	27 生 手芸クラブ 9:30 生 囲碁・将棋 13:30	28
29 ス 須佐みことマラソン 8:30	30 生 ピンポン 13:30	11/1~7 文化財週間  11/1~10 高齢者の交通安全防止県民運動  11/9~15 秋季全国火災予防運動 				

伝言板

●我が家の手作り教室
「みんなで楽しくピザ作り！」
○とき　11月13日（金）
午後9時30分から
○ところ　弥富交流促進センター
○講師　弥富9区齊藤洋子
○参加費　500円
○持参物　エプロン・三角巾・マスク



●弥富さつき学級
「みんなで楽しもう！ボッチャ」
○とき　11月20日（金）
午前9時30分から
○ところ　弥富交流促進センター
○持参物　室内履きシューズ

★各教室の詳細は、回覧のチラシをご覧ください。
★問い合わせ先
須佐公民館　TEL⑥2310
弥富公民館　TEL⑧2044



○漢字クイズの答え
しゅうこうばひ
「秋高馬肥」

編集後記

10月から始まった「山口デスティネーションキャンペーン」は、JRと行政・観光事業者が連携し山口県に旅行者を呼び込む事業で、12月まで続きます。
山口県のメインは「SLやまぐち号」の運行です。中でもC571は、その優雅な風貌から貴婦人と呼ばれています。実はこのC571が昭和54年8月1日から山口線で運行する前の7月に、試運転のため乗車させてもらったことを思い出します。
子どもの頃からずっと蒸気機関車の機関士になることが夢でした。
Y

毎月第3日曜日は「家庭の日」です
今月は『15日』です
★家族みんなで過ごしましょう！

須佐地域の人口　（R8.9月末現在）

	世帯数	人口	前月比
須佐	893戸	1,550人	（△5人）
弥富	204戸	374人	（△1人）
合計	1,097戸	1924人	（△6人）
昨年比	世帯数△29人		人数△64人